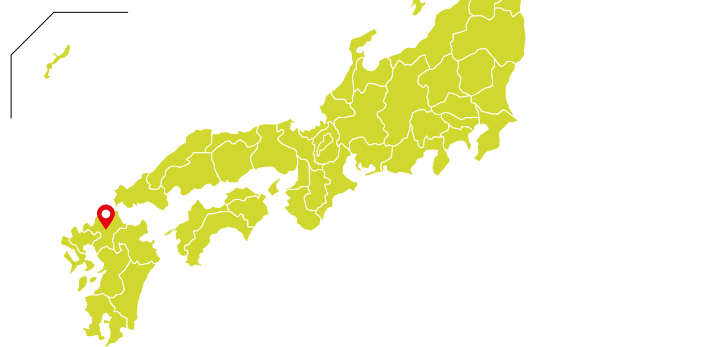


地方で活躍する 駒大卒業生の 皆さん

第15回

輝く卒業生に
Close Up!



大学の学びを 地方で活かす

現在、私は一般財団法人九州電気保安協会の福岡支部で総務担当の業務員として働いています。鹿児島県鹿児島市の出身ですが、大学卒業と同時に就職で福岡市へ引っ越ししました。福岡は九州一の大都市ですが、近年、アジアに最も近い都市として経済も活発化しています。地理的なアドバンテージの大きいこの街での生活は、東京とまた違う面白さにあふれています。

私は小さい頃から地理が得意で、かつ大の地理好きです(笑)。駒澤大学へ入学したのも、大好きな地理学を最高の環境で学びたいという思いからでした。駒大で勉強する自分の姿が想像できなかったので、公募推薦試験を受けて入学しました。今振り返ると、何か引き寄せられるようなご縁があったと思いますし、ここで過ごした4年間を心の底から誇りに思います。



一般財団法人九州電気保安協会
福岡支部

桃坂 光さん

鹿児島県鹿児島市出身
池田学園池田高等学校出身
駒澤大学文学部地理学科卒業
(2020年3月)

学生時代は、長期休暇になると先輩や友人と日本・世界各地を飛び回り、旅先の自然や文化を肌で感じる日々を送っていました。地理学科の学生にとって、旅行(巡検)は大切な勉強の一つです。47都道府県と海外7カ国を巡った経験で、地理学で大切な「地域を分析する眼」を十分に養えたと思います。

この観察眼を活かし、3年次の





ゼミと卒業論文では、奄美大島宇検村の集落維持や指宿市に存在する石碑について研究しました。4年間指導してくださった須山聡教授をはじめ、多くの先生の授業を受講できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

勉強以外では、オープンキャンパスの運営スタッフや大学の広報活動に関わらせていただきました。一人でも入学したいと思う学生を増やすために、夏場の駒沢キャンパスを毎年走り回ったこと、田園都市線の車内広告等に自分が掲載されたこと、どれも忘れられない思い出ばかりです。職員の方々には大変良くしていただき、素晴らしい先輩や同期、後輩に囲まれて4年間過ごしました。加えて、卒業後もこのような形で寄稿する機会をいただき、大変うれしく思います。

大学卒業後は、電気会社の事務職として、現場に出る職員を裏で支えています。地理学を学んできた私が、電気の世界に入るとは全く想像していませんでしたが、これまでに培った「地域を分析する眼」や「フットワークの軽さ」は武器として業務でも活かされています。

現在担当している総務業務は

多岐にわたり、経理購買から職場の安全衛生、さらには福岡県内各所の事業所管理も行います。半年前に今の部署へ異動して、業務内容や支那管内の地域特性を一から覚えるのにとっても苦労しましたが、これらの武器は私の大きな原動力となっています。

就職してから、「なぜ地理学の専門的な仕事に就かなかったのか?」「なぜ就職で東京を離れたのか?」と聞かれることがよくあります。私は、地理学を学んだ身として、この経験を社会で還元できるのは専門的な仕事だけではないと思いますし、活躍できる場所は全国に広がっています。

事実、コロナ禍となった今では場所にとらわれない仕事も増えましたし、地方移住する人も増加しています。これから就職活動をされる方や、お子さまを入学させたいとお考えの親御さまには、大学卒業後の進路について、私のような選択肢もあるということを頭の片隅に置いていただければ幸いです。

オミクロン株の感染拡大で落ち着かない毎日ですが、駒澤大学に関係する皆さまに明るい未来がありますように。

